



いろんな
しごと たいけん
仕事 が 体験
できるよ!

こどもがつくる、こどものまち

はねだ



三二羽田



どうじかいさい
同時開催

せかい
『世界こどもx地域

ちいき
合衆国サミット』

さんかしゃ
参加者
だいぼしゅう
大募集
じぜんもうしこみせい
事前申込制



「ミニ羽田」に参加したこどもたちは、自分たちの力で町を運営します。町には、市役所・銀行などの公共施設、工場や食事を提供するお店、ゲームを楽しむ娯楽施設など様々な仕事がつくれ、こどもたちはAIやメタバースも使って好きな仕事を体験します。仕事を終わると、お給料が支払われ、納税・消費体験を行うことができます。このような体験を通して労働の喜び、お金の大切さなど、社会のしくみを楽しみながら学びます。



いろんな仕事を体験しよう!

銀行・税務署・テレビ局・新聞社・人助けの仕事・ビューティーサロン・ユーチューバー・射的・パチンコ・1円玉落とし・スライム・くるくるレインボー・缶バッチ・名刺作り・シュシュなど、いろんな仕事が用意されています。

※仕事の内容は、変更になることがあります。最新情報はホームページを確認してください。



申し込み方法

パソコン、又はスマートフォンから、申込フォーム (<http://minitama.jp/hanedayoyaku/>) にアクセスし、必要事項の入力後、送信ボタンを押してください。

※ 申込期間は、2023年9月16日(土)～10月1日(日)午後5時とさせていただきます。

※ ミニ羽田当日の申込みはできません。余裕をもって申込フォームからお申込みください。

※ 上記のURLから、合衆国サミット、ボランティア・見学者など全ての申し込みが可能です。



開催日時 : 2023年10月8日(日) 午前10時～午後4時(入退場自由)

対象年齢 : 小学校1年生～中学校3年生

参加費用 : 500円 ※保護者の方も参加費(500円)で、町の生活を体験する事ができます。

開催場所 : 羽田PiO 「PiO PARK」東京都大田区羽田空港1丁目1番4号 HICity ZONE K201

※東京モノレール・京浜急行電鉄空港線「天空橋駅」より直結 ホームページ : <https://piopark.net>

問い合わせ先 : 田園調布学園大学 地域交流センター 電話 : 044-966-2780 (月～金 9:00～17:00)

※電話が繋がりにくい場合はメールでのお問い合わせをお願いいたします。

メール : c-center@dcu.ac.jp ※ご返信にお時間をいただくことがありますのでご了承ください。

ホームページ : <http://minitama.jp/haneda/>

一般社団法人デジタル田園都市構想応援団、田園調布学園大学、
一般社団法人SDGs Innovation HUB、大田区との共同事業です。

保護者の方へ

1. ミニ羽田は、こども主体のイベントです。こどもたちの活動に口出しをせず、温かい目で見守ってください。
2. 本イベントで収集した個人情報は、本イベントに関連する業務のみに利用し、その他の活動には利用いたしません。
3. 本イベントでは、広報および資料作成・研究活動のために撮影をさせていただきます。撮影した写真・映像は、ホームページ、書籍などへの掲載、ニュース番組などのテレビ報道に活用させていただきます。
4. 参加されるお子さまには、緊急時の連絡先として保護者様の携帯電話番号などを持たせて下さい。
5. 大雪・災害などで本イベントが中止になる際には、当日早朝 6 時までにホームページ等でお知らせいたします。



「こどものまち」とは？

ミニ羽田のように、こどもたちが自分たちの力で町を作り仕事を体験する活動を「こどものまち」と呼び、1979年にドイツで開催されたミニ・ミュンヘンが起源となっています。全国には300を超える「こどものまち」が開催されています。ミニ羽田は、2005年から神奈川県川崎市の田園調布学園大学で開催されているミニたまゆりという「こどものまち」を参考にしており、同大学からノウハウの提供やボランティアの派遣などの支援を受けて実施されています。(ミニたまゆりの詳細は、ホームページ <http://minitama.jp> をご覧ください)

同時開催『世界こども x 地域 合衆国サミット』

選挙で選ばれた、全国の「こどものまち」の代表児童やウクライナのこどもの代表を招き、こどもたちによる、主要国首脳会議を開催します。各地域の「こどものまち」の紹介を行うとともに、「従来の価値観が通用しなくなるシンギュラリティー時代において、こども・デジタル・まちの力で、持続可能に変えるにはどうすれば良いか？」というテーマで、次世代を担うこどもたちが議論を展開し、その結果を、大人の代表*に提言します。(※大人の代表として、大田区、川崎市など地方自治体の代表、国会議員などが参加予定です。)

話し合われるテーマの例

- ① 世界（ウクライナ）の子どもたちが、もっと仲良くなる方法を考えよう
- ② AI・メタバースを利用した新しい仕事を考えよう
- ③ SDGsを意識したエコな町づくりをするためには
- ④ 子どもが暮らしやすい町づくりについて考えよう（子どもの権利）



プロジェクトの目的

デジタルの力と「こどものまち」のチカラを組み合わせ、地域・社会を変える新しい「仕事」づくりに参加しませんか？「世界こども x 地域 合衆国サミット」は、次世代を担うこどもたちのチカラによる、持続可能で成長する地域・社会への変革を目指します。

プロジェクトの目標

こどもたちのチカラ、起業家としての発想、こどもたちとの交流によって新しい価値観の創出します。こどものチカラを引き出し、こどもの社会と大人の社会をシームレスに接続する環境を築きます。全国300ヶ所以上に広がる、「こどものまち」の可能性、その魅力を大人たちに伝えましょう！

さらに、2025年の大阪・関西万博と2027年の横浜国際園芸博覧会に向けた新たな挑戦が始まります。デジタルの力を駆使して、メタバースやリアル世界で世界中のこどもたちを繋ぐイベントの開催を目指します。こどもたちの創造力とデジタルテクノロジーを融合させ、地域（「まち」）の価値を最大限に引き出し、世界中のこどもたちをつなぐ中心的なハブとして機能することを目標としています。

参加対象：全国の「こどものまち」の代表児童・代表児童と議論をしたい大人・大人の見学者

協力：一般社団法人 全国心理業連合会、円谷プロ